

# 三豊市男女共同参画に関するアンケート (市民用)

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

三豊市では、一人ひとりが自分らしく輝くために、男女がお互いに人権を尊重し、ともに生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」をめざしています。

このアンケートは、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次三豊市男女共同参画プラン」の見直しにあたっての現在の状況、今後の施策の実施にあたって住民の皆さまのお考えをお聞きするため、市内にお住まいの 18 歳以上の男女 2,000 人を無作為に選ばせていただき実施するものです。

この調査の結果は、すべて統計的に処理し、あなたの回答の内容が外部に漏れることや個人が特定されることはありません。また、この調査目的以外に使われることはありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、何とぞ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成 29 年 7 月

三豊市政策部田園都市推進課

三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会

## 記入にあたってのお願い

このアンケートは無記名ですので、名前を記入する必要はありません。

1. ボールペンまたは鉛筆で、はっきりと書いてください。
2. 各質問のあてはまる回答の番号を○で囲んでください。「その他」のときは、( ) 内に具体的な内容を記入してください。
3. 回答には、○の数を指定している場合があります。質問をよく読んでお答えください。
4. ご記入済みのアンケート用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**平成 29 年 7 月 28 日(金)まで**に、郵便ポストに投函してください。

このアンケートについてのお問い合わせなどは、下記までお願いします。

〒767-8585

三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 1

三豊市政策部田園都市推進課 男女共同参画担当

電話：0875-73-3011 FAX：0875-73-3022



## あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 5. 50歳代  |
| 2. 20歳代 | 6. 60歳代  |
| 3. 30歳代 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40歳代 |          |

問3 あなたの現在のお住まいはどこですか。合併前の町名でお答えください。(〇は1つ)

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 高瀬町 | 5. 詫間町 |
| 2. 山本町 | 6. 仁尾町 |
| 3. 三野町 | 7. 財田町 |
| 4. 豊中町 |        |

問4 あなたは、結婚（婚姻届を出していない場合も含みます）していますか。(〇は1つ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 結婚している  | → (問5へ) |
| 2. 結婚していない | → (問6へ) |
| 3. 結婚していた  | → (問6へ) |

問5 問4で「1. 結婚している」と回答した方にうかがいます。夫婦共働きですか。  
(〇は1つ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 共働きである（パート・アルバイト等を含む） |
| 2. どちらか一人だけ働いている         |
| 3. 二人とも働いていない            |

問6 あなたが、現在同居している家族の構成は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

- |                 |
|-----------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） |
| 2. 一世代世帯（夫婦のみ）  |
| 3. 二世帯世帯（親と子）   |
| 4. 三世帯世帯（親と子と孫） |
| 5. その他          |

## お仕事についておたずねします

問7 あなた自身は、現在何らかの仕事をしていますか。病気や出産、育児などで一時休業している場合も、仕事をしているものとしてください。(○は1つ)

1. ずっと仕事をしている→(問8へ)
2. 以前は仕事をしていなかったが、今はしている→(問8へ)
3. 以前仕事をしていて、一度やめたが、今はまた仕事をしている→(問8へ)
4. 今まで仕事をしたことがない→(問11へ)
5. 以前は仕事をしていたが、今はやめている→(問11へ)
6. 専業主婦(夫)である(主婦(夫)業以外の仕事をしていない)→(問12へ)
7. 学生である→(問15へ)

問8 問7で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねします。あなたの雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事についているときは、主なものを1つ選んで○をつけてください。(○は1つ)

1. 正社員で雇用されている
2. 臨時・パート・アルバイト・派遣などで雇用されている
3. 自営業(業種: )の事業主である
4. 自営業の家族従事者である

問9 問7で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方(現在何らかの仕事をしている方)におたずねします。あなたの職場では以下のようなことがありますか。(○はいくつでも)

1. 募集や採用の面で、男女に差がある
2. 賃金や昇給の面で、男女に差がある
3. 昇進や昇格の面で、男女に差がある
4. 女性の仕事は補助的業務や雑用が多い
5. 職場での研修や研究の機会に男女の差がある
6. 女性は結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある
7. 男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある
8. ハラスメントがある
9. 業務以外で、慣例等による女性の雑用が多い
10. 上記のようなことはない

問 10 問7で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方（現在何らかの仕事をしている方）におたずねします。あなたは仕事と、家庭生活や地域活動のどちらを優先していますか。（○は1つ）

1. 仕事に専念している
2. 仕事を優先させている
3. すべて、同じように両立させている
4. 家庭生活や地域活動を優先させている
5. 家庭生活や地域活動に専念している

問 11 問7で「3.」「5.」のいずれかに○をつけた方（仕事をやめたことのある方）におたずねします。あなたが仕事をやめたのは、どのような理由からですか。（○は1つ）

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 結婚        | 6. 賃金を含む待遇 |
| 2. 出産        | 7. 定年      |
| 3. 育児        | 8. リストラ    |
| 4. 介護        | 9. その他     |
| 5. セクハラ・パワハラ | （具体的に      |

問 12 問7で「4.」「5.」「6.」のいずれかに○をつけた方（現在仕事をしていない方、専業主婦（夫）の方）におたずねします。あなたは今後、働きたいですか。（○は1つ）

1. 働きたい →（問13へ）
2. 働きたくない →（問14へ）
3. わからない →（問14へ）

問 13 問12で「1.働きたい」に○をつけた方におたずねします。あなたが今、働かない理由、働けない理由はどのようなことですか。（○は3つまで）

1. 希望する職業の募集や採用がない
2. 就職先の条件（年齢、待遇など）や仕事の内容が合わない
3. 仕事をはじめるとあって資金等の条件が不足している
4. 自分の健康や体力に自信がない
5. 技能を磨く機会がない
6. 働くにあたって家族の理解・協力が得られない
7. 介護、看護の必要な家族がいる
8. 適切な保育所、託児施設が見つからない
9. 就職に関する相談先がわからない
10. 現在は働かず、いずれ働くつもりだ
11. その他（具体的に

問 14 問5で「1. 共働きである」「2. どちらか一人だけ働いている」と回答した方におたずねします。配偶者の雇用形態は、次のどれにあてはまりますか。2つ以上の仕事についているときは、主なものを1つ選んで○をつけてください。(○は1つ)

1. 配偶者は働いていない
2. 正社員で雇用されている
3. 臨時・パート・アルバイト・派遣などで雇用されている
4. 自営業（業種： ）の事業主である

問 15 あなたは女性が仕事を続けることについて、どのように考えますか。(○は1つ)

1. 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるのがよい
2. 子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をする方がよい
3. 子どもができるまでは、仕事を続けるのがよい
4. 結婚するまでは、仕事を続けるのがよい
5. 女性は仕事に就かない方がよい
6. わからない

問 16 あなたは、今までに育児休業や介護休業制度を利用したことがありますか。(○はいくつでも、「1.」「2.」を選んだ方は数字もご記入ください)

1. 育児休業制度を利用したことがある (子ども\_\_人・\*\_\_日間)
2. 介護休業制度を利用したことがある (介護者\_\_人・\*\_\_日間)
3. 利用したことがない

\*複数回取得された方は、最長取得日数をご記入ください。

## 男女平等についておたずねします

問 17 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(〇はいくつでも)

1. 男女の固定的な性別役割分担を押し付けること(「男は仕事、女は家庭」など)
2. 家庭内での夫(恋人など同居の男性を含む)から妻(女性)への暴力
3. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)、差別待遇
4. 痴漢やストーカー行為
5. 女性の働く性風俗営業
6. 女性のヌードを主にした雑誌やテレビ放映、アダルトビデオ
7. テレビや新聞、インターネット等における女性を蔑視するような表現や扱い
8. 内容に関係なく、女性の体やしぐさを使用した広告など
9. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )

問 18 あなたは、次に掲げるア～クの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野ごとに、あてはまる番号に〇をつけてください。(ア～クのそれぞれについて、〇は1つずつ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	男女平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
イ 自治会やPTAなどの地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
ウ 職場で	1	2	3	4	5	6
エ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
オ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度上で	1	2	3	4	5	6
キ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体	1	2	3	4	5	6

問 19 あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。あなたが結婚なさっている、いないに関わらず、お答えください。(〇は1つ)

1. 旧姓を通称として使用したいと思う
2. 旧姓を通称として使用したいと思わない
3. わからない

## 生活や地域活動と仕事についておたずねします

問 20 結婚や家族観（男女の役割）についておたずねします。（ア～オのそれぞれについて、○は1つずつ）

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	どちらともいえない	わからない
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい	1	2	3	4	5	6
イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5	6
ウ 結婚していなくても、子どもを持つのは自由である	1	2	3	4	5	6
エ 子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ	1	2	3	4	5	6
オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るのが望ましい	1	2	3	4	5	6

問 21 実際にあなたの家庭では、家事は誰が分担していますか。（ア～コのそれぞれについて、○は1つずつ）

	主に夫	夫婦が協力して	主に妻	家族が協力して	その他（ヘルパー等）	該当しない
ア 掃除	1	2	3	4	5	6
イ 洗濯	1	2	3	4	5	6
ウ 食事の準備	1	2	3	4	5	6
エ 食事の片づけ	1	2	3	4	5	6
オ 家族の介護	1	2	3	4	5	6
カ 子どもの育児・教育	1	2	3	4	5	6
キ 学校行事等への参加	1	2	3	4	5	6
ク 自治会等の地域活動	1	2	3	4	5	6
ケ 家計の管理	1	2	3	4	5	6
コ 主たる収入	1	2	3	4	5	6

問 22 育児や家族の介護を行うために、育児休業（※1）や介護休業（※2）を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に取った方がよい</li> <li>2. どちらかというを取った方がよい</li> <li>3. どちらかというを取らない方がよい</li> <li>4. 取らない方がよい</li> <li>5. わからない</li> <li>6. その他（具体的に</li> </ol> | ) |
|---|---|

（※1）労働者が原則としてその1歳に満たない子を養育するためにする休業

（※2）労働者がその要介護状態にある対象家族を介護するためにする休業

問 23 あなたがお住まいの地域（町や自治会など）では、以下のようなことについて、男女どちらが多いと思いますか。（ア～ウのそれぞれについて、○は1つずつ）

	男性の方が多い	男女同じくらい	女性の方が多い	わからない
ア 地域の団体等の役員や運営に携わる	1	2	3	4
イ 地域の会議や行事に参加する	1	2	3	4
ウ 地域の会議で発言が取り上げられる	1	2	3	4

問 24 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に参加することが望まれています。そのためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男性が家事に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす</li> <li>2. 男性が家事に参加することに対する女性の抵抗感をなくす</li> <li>3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくとる</li> <li>4. 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する</li> <li>5. 男性による家事、子育て、介護、地域活動について、社会の中での評価を高める</li> <li>6. 労働時間短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする</li> <li>7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う</li> <li>8. 行政などの研修で、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める</li> <li>9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間作りを進める</li> <li>10. 家庭や地域活動と仕事の両立の問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける</li> <li>11. その他（具体的に</li> </ol> | ) |
|--|---|



問 25 地域活動の中で、これからますます男女共同参画の視点が必要になると思われる分野は、どのようなことだと思われますか。(〇は3つまで)

1. 地域おこしや地域活動などのまちづくり分野
2. 防災に関する分野
3. 地域における見守り体制の整備などの防犯分野
4. 観光振興に関する分野
5. 地域の農林水産業の振興に関する分野
6. 地域の商業の振興に関する分野
7. 高齢者の見守り活動などの福祉分野
8. わからない
9. その他(具体的に

)

### 子育てや教育についておたずねします

問 26 「男女共同参画社会」の形成のためには、学校教育が重要であるといわれていますが、具体的にどのようなことが重要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 学校生活の中で、児童・生徒の男女による役割分担をなくす
2. 生徒指導や進路指導において、男女の区別なく能力や個性を生かせるようにする
3. 男女平等教育の研修を通して教師自身の意識を変えていく
4. 学習や指導の場で、男女平等意識に変えていく
5. 校長・教頭などに女性を積極的に登用する
6. PTAなどを通じ、男女平等教育の理解と協力を深める
7. その他(具体的に

)

問 27 最近、出生率が低下し、少子化が進んでいますが、何が原因だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 子育てのための経済的負担が大きい
2. 男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えた
3. 保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的しくみが整っていない
4. 子育てより自分の生活を充実させたい
5. 子どもは少なく産んで十分手をかけて育てたい
6. 子育てが妻の負担になっており、夫の協力が足りない
7. 出産や育児は精神的・肉体的負担が大きい
8. 住まいが狭い、住居費が高いなど住宅事情が悪い
9. 子どもを産む必要がないと思う人が増えた
10. 子どもを取り巻く生活環境や凶悪犯など社会環境が悪い
11. 独身男女の出会いの場が少ない
12. 病気や不妊が原因である
13. その他(具体的に

)

問 28 子どもを産み・育てやすい環境づくりには、行政に対して具体的にどのような施策を期待しますか。(〇は3つまで)

1. 働きながら子育てできる雇用環境の整備
2. 妊娠や出産に対する経済的支援、児童手当の拡充や税制面での支援
3. 保育・教育費の負担軽減や高校・大学生に対する奨学金事業の充実
4. 若者が自立し、家庭が持てるよう、安定就労の確保
5. 男性も女性と一緒に家事・育児に参加していく意識啓発
6. 妊産婦、乳幼児健診などの母子保健医療や小児医療体制の充実
7. 確かな学力と豊かな人間性を育てる教育の推進
8. 延長保育・病児保育等多様な保育サービスや放課後児童クラブの充実
9. 児童虐待の防止や子どもの安全の確保
10. 親子が相談・交流できる拠点の整備
11. 妊婦、子どもや子ども連れが安心して外出できる環境整備
12. その他(具体的に )

問 29 あなたは、子育てについて、どのように考えますか。(〇は3つまで)

1. 男女を問わず、社会人として自立できるように育てたい
2. 子どもの個性に応じて育てたい
3. 男女を問わず、身の回りの家事ができるように育てたい
4. 男女の役割を固定せず、しつけや教育を区別しないで育てたい
5. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたい
6. わからない
7. その他(具体的に )

### 育児や介護等についておたずねします

問 30 「家庭での育児、介護などの役割は、社会的にも重要であるため、社会全体でみとめていこう」という考え方がありますが、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思えますか。この中から1つだけお答えください。(各設問〇は1つ)

(1) 育児

1. 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に支援する
2. 表彰などで社会的にみとめる
3. この役割について経済的・社会的に支援する必要はない
4. わからない
5. その他(具体的に )

(2) 介護

1. 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に支援する
2. 表彰などで社会的にみとめる
3. この役割について経済的・社会的に支援する必要はない
4. わからない
5. その他（具体的に

)

(3) 育児・介護以外の家事

1. 手当の支給や税制上の優遇などで経済的に支援する
2. 表彰などで社会的にみとめる
3. この役割について経済的・社会的に支援する必要はない
4. わからない
5. その他（具体的に

)

ドメスティック・バイオレンス（DV）についておたずねします

問 31 あなたは、DV（※）を知っていましたか。（○は1つ）

1. 知っている
2. 知らない
3. その他（具体的に

)

（※）ドメスティック・バイオレンスとは、配偶者や恋人などの親密な関係にあるパートナーからの一方的な暴力のことです。身体的な暴力だけでなく、精神的暴力、経済的暴力、社会的暴力、性的暴力など、あらゆる形で私たちの身近に存在しています。

問 32 あなたは、DVを経験したことがありますか。（○は1つ）

1. DVを受けたことがある →（問 33 へ）
2. DVの加害者になったことがある →（問 36 へ）
3. 身近にDVを受けた知り合いがいる →（問 36 へ）
4. 身近な人からDVの相談を受けたことがある →（問 36 へ）
5. DVを経験したことも、身近で聞いたこともない →（問 36 へ）
6. その他（具体的に

) →（問 36 へ）

問 33 問 32 で「1. DVを受けたことがある」と回答した方におたずねします。どのような暴力を受けましたか。(〇はいくつでも)

1. 身体的暴力を受けた
2. 何を言っても無視され続けた
3. 機嫌が悪くなると物にあたるなど、怖がらせるような行動や態度をとられた
4. いやがっているのに性的な行為を強要された
5. 交友関係や電話、郵便物を細かく監視された
6. 大声でどなられた
7. 生活費を渡してくれない、または少額的生活費しか渡してくれない
8. その他(具体的に

)

問 34 問 32 で「1. DVを受けたことがある」と回答した方におたずねします。その後、どこか(誰か)に相談しましたか。(〇はいくつでも)

1. どこ(誰)にも相談しなかった
2. 知人・友人に相談した
3. 家族や親せきに相談した
4. 配偶者暴力相談支援センター(女性相談所、女性相談センター等)に相談した
5. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
6. 市役所に相談した
7. 警察に相談した
8. 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー等)に相談した
9. 医療関係者(医師、看護師等)に相談した
10. その他(具体的に

)

問 35 問 34 で「1. どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。相談しなかった理由はどんなことですか。(〇は3つまで)

1. どこ(誰)に相談したらよいのかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った
5. 加害者に「誰にも言うな」と脅された
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
7. 世間体が悪いと思った
8. 自分たち以外の人を巻き込みたくなかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどのことではないと思った
11. その他(具体的に

)

## 男女共同参画社会の形成についておたずねします

問 36 政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。(〇は1つ)

1. 男性優位の組織運営
2. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
3. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
4. 家族の支援や協力が得られない
5. 女性側の積極性が十分でない
6. 女性の能力開発の機会が不十分である
7. 女性の活動を支援するネットワークが不足している
8. その他(具体的に )

問 37-1 以下のような職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

1. 県、市町村の首長
2. 国会議員、県議会議員、市町村議会議員
3. 裁判官、検察官、弁護士
4. 大学教授、学長、学校長など
5. 自治会長など地域の役員
6. 企業の管理職
7. 起業家・経営者
8. その他(具体的に )
9. 特にない

問 37-2 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取り組みを進めること
6. その他(具体的に )
7. 特にない
8. わからない

問 38 次の男女共同参画に関する言葉についてどのくらい知っていますか。

(ア～キのそれぞれについて、○は1つずつ)

	よく 知っている	少しは中身を 知っている	言葉だけ 知っている	まったく 知らない
ア 男女共同参画社会	1	2	3	4
イ 女子差別撤廃条約	1	2	3	4
ウ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3	4
エ ジェンダー(社会的・文化的 に形成された性別)	1	2	3	4
オ 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
カ 女性活躍推進法	1	2	3	4
キ 仕事と生活の調和(ワーク・ ライフ・バランス)	1	2	3	4

問 39 今後、男女共同参画社会の実現のために、最も重要なことは何だと思えますか。(○は1つ)

1. 社会制度のうえでの見直しを行い、女性差別につながるものを改める
2. 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習やしきたりを改める
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力を向上させる
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実させる
5. 政府や企業などの重要な役職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用する
6. 女性自身の意識改革
7. 男性の働き方・暮らし方の意識改革
8. その他(具体的に )

問 40 男女共同参画社会を形成するため、今後、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思えますか。(○は3つまで)

1. 社会の制度の面で見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う
5. 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野へ女性の進出を促進するため、職業教育や職業訓練を充実させる
6. 保育の施設、高齢者や病人の施設、介護サービスを充実させる
7. 学校教育や社会教育の生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる
8. 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などを充実させる
9. 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する
10. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. 健診体制や相談など健康に関する事業を充実させる
12. その他(具体的に )

## ワーク・ライフ・バランスについておたずねします

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会とは「一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」のことです。

問 41 「ワーク・ライフ・バランスが実現した社会」について、以下の3つの項目を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、それぞれの項目が5年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものをそれぞれ1つだけお答えください。（○は1つ）

	良くなったと思う	良くなったかと思えばどちらかといえば	変わらないと思う	悪くなったかと思えば	悪くなったと思う	わからない
1 経済的に自立し、いきいきとした働き方ができるなど、暮らしの基盤が確保できる	1	2	3	4	5	6
2 健康で、家族や友人と過ごしたり、自己啓発や地域活動に参加する時間を持てる豊かな生活ができる	1	2	3	4	5	6
3 誰もが、子育てや介護など個人の状況に応じて多様で柔軟な働き方や生き方ができる	1	2	3	4	5	6

## セクシャル・マイノリティについておたずねします

問 42-1 あなたは、「セクシャル・マイノリティ（LGBT・性的少数者など）」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

1. 意味を知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 聞いたことがない

問 42-2 あなたは、今までに自分の性別や恋愛対象などについて悩んだことはありますか。または、周囲の人で悩んでいる人はいましたか。（○は1つ）

1. 悩んだことがある  
「1」に○をつけた方におたずねします。  
具体的にどのようなことに悩みましたか、また、悩んでいますか。お書きください。  
( )
2. 悩んだことはないが、周囲にいる（いた）
3. 悩んだことはなく、周囲にもいなかった

問 43 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて、ご意見、ご要望などありましたら、自由にご記入ください。


ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**7月28日（金）まで**に、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。